

第1回 Quality & Safety Team Awards 2021 発表会を行いました。

令和4年3月15日（火）16：00から、第1回 Quality & Safety Team Awards 2021（医療の質・安全チーム大賞）発表会をWEB方式にて行いました。

澤野医療企画部長から、「課題を解決するヒントは現場の中にこそあり、各労災病院で実施している医療の質、安全向上の取組の中から、優れた取組を選考し、表彰するとともにその取組について労災病院全体で共有することとした。」と開会挨拶とともに大賞創設の趣旨を説明されました。

その後、有賀理事長から特別講演があり、「病院医療における安全についての概略的な考え方」として、「安全（サイエンス）と安心（心の問題）との関係について、丁寧なサイエンスに基づく説明があれば納得と信頼が生まれる」、「安全、安心こそが医療の質そのもの」とし、「病院における臨機応変といった成功事例に関する組織的な展開、good practiceの結果が本日の大賞に結び付いた」と締めくくられました。

続いて、受賞チームである富山、山口、香川の各労災病院から受賞コメント及び取組事例の発表がありました。

最後に、中島医療安全担当理事から、「『good practice』を共有するプラットフォームができたこと」、「取り組むことで見えてきた新たな課題やより良い解決法があると思うので、引き続き今回の取組を発展させてほしい。また、他の労災病院においても、これらの取組を参考に自院の状況やリソースなどに合わせて改良の上、導入を検討してほしい。」、「チームや組織のレジリエンス力、総合力は、チームング、すなわち多職種のメンバーが境界を越えて協働することで発揮される。」「来年度も多様な形のチームにより、素晴らしい取り組みが展開され、本大賞に応募していただけることを心より祈念しています。」と挨拶され、盛会のうちに幕を閉じました。

受賞チームの皆様おめでとうございます。

来年度も多くの労災病院から素晴らしい取組を推薦していただけますようお願いいたします。

Quality & Safety Team Awards（医療の質・安全チーム大賞）とは、各労災病院が、日頃、実践している医療の質、安全向上の取組の中から、優れた取組（グッド・プラクティス事例）を選考し、その取組を表彰する賞です。

【受賞病院】

・富山労災病院（富山労災 MACT）『生体情報モニタにおけるテクニカルアラームを含む「注意アラーム」のムダ鳴り削減への取り組み～1部署における限界から他職種共同における無限∞の可能性に～』



・山口労災病院（医療安全対策チーム）『画像診断レポートの未読対策 医師の行動変容からみた画像診断レポートに対する未読監査の効果の検討』



・香川労災病院（中央放射線部 中堅若手による造影検査見直し WG）『造影 CT・MRI 標準化 ～造影剤高圧注入ルート適正化にむけた取り組み～』

